

一般社団法人日本地域看護学会

2021年度社員総会

- I. 日 時 2021年6月27日(日) 13:30~14:30
- II. 会場形態 Zoomによるオンライン会議
配信元:株式会社ワールドプランニング会議室
(東京都新宿区神楽坂4丁目1番1号)
- III. プログラム
1. 開会の辞
 2. 議事録署名人の決定
 3. 議 題
 1. 2020年度事業報告について
 - 1) 全体報告
 - 2) 委員会報告
 - (1) 編集委員会
 - (2) 研究活動推進委員会
 - (3) 広報委員会
 - (4) 教育委員会
 - (5) 国際交流推進委員会
 - (6) 表彰論文選考委員会
 - (7) 災害支援のあり方検討委員会
 - (8) 選挙管理委員会
 2. 2020年度収支決算について
 3. 2020年度監査報告について
 4. 2021・2022年度事業計画について
 5. 2021年度収支予算について
 6. 賛助会員入会金と会費について
 7. 2021~2022年度理事・監事の選任について
 8. 名誉会員の推薦について
 9. その他
 4. 新役員あいさつ
 5. 第26回学術集会長について
 6. 第24回学術集会長および第25回学術集会について
 7. 意見交換
 8. 閉会の辞
- IV. 資 料
- | | |
|--------|--------------------|
| 資料 1-1 | 2020年度事業報告書(全体報告) |
| 資料 1-2 | 2020年度事業報告書(委員会報告) |
| 資料 2-1 | 2020年度貸借対照表 |
| 資料 2-2 | 2020年度収支計算書 |
| 資料 2-3 | 2020年度財産目録 |
| 資料 3 | 2020年度監査報告書 |
| 資料 4-1 | 2021年度事業計画書 |
| 資料 4-2 | 2022年度事業計画書 |
| 資料 5 | 2021年度収支予算書 |
| 資料 6 | 賛助会員入会金と会費について |
| 資料 7 | 2021~2022年度役員候補者一覧 |
| 資料 8 | 名誉会員候補者一覧 |
| 資料 9 | 役員・社員名簿 |

一般社団法人日本地域看護学会 2021 年度社員総会

I. 日 時 2021 年 6 月 27 日 (日) 13:30~14:30

II. 会場形態 Zoom によるオンライン会議
配信元：株式会社ワールドプランニング会議室
(東京都新宿区神楽坂 4 丁目 1 番 1 号)

III. 議 事

1. 第 1 号議案 2020 年度事業報告について

1) 全体報告 (説明)

【資料 1-1】

- 理事会 3 回、メール審議 8 回、社員総会 1 回、8 委員会、会員報告会（「学会だより」での報告）を 1 回開催した。第 23 回学術集会は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防および感染拡大防止のため、大阪市にて予定していた対面による開催を取り止め、講演集による誌上発表へ変更し、一部プログラムは動画配信を行った。そして、理事会緊急セミナー「新型コロナウイルス感染症に対する自治体本庁への学会としての支援経験からの学び」を第 23 回学術集会講演集の誌上発表にて実施した。
- 理事会緊急セミナー開催に至ったきっかけは下記の通りであった。新型コロナウイルス感染症の流行が危機的な拡大を見せ、2020 年 7 月に、厚生労働省から本学会に至急の協力要請があり、本学会の「健康危機管理支援システム」に支援要員として既に登録している会員及びこれまで厚労省への応援を経験している会員を対象に、保健所支援への登録の協力依頼を行った。
- 2019 年度に学会ホームページに立ち上げた新型コロナウイルス関連情報特設サイトは、情報を定期的に更新し、継続して情報発信に努めた。
- 日本地域看護学会誌は、2020 年度から電子体のみでの発行となったため、会員へアンケート調査を実施した。その他、日本地域看護学会誌投稿規程を改正し、英文投稿原稿に関する執筆要領を明記した。
- 地域看護学に関する研究活動推進のための委員会セミナーの開催は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防および拡散防止のため、オンライン開催にて実施した。
- 2020 年度は、優秀論文 1 編、奨励論文 2 編を決定した。
- 賛助会員の入会申請や会費、学会ホームページの企業広告について検討した。賛助会員の会費や学会 HP への広告掲載等を認めるかに関しては、社員総会に諮ることとした。

2) 委員会報告 (説明)

【資料 1-2】

編集委員会、研究活動推進委員会、広報委員会、教育委員会、国際交流推進委員会、表彰論文選考委員会、災害支援のあり方検討委員会、選挙管理委員会が、2020 年度活動計画に基づき活動を行った。

2. 第 2 号議案 2020 年度収支決算について

【資料 2-1、2-2、2-3】

(説明)

2020 年度の資産合計は 23,456,515 円、負債合計は 1,978,074 円で、正味財産は 21,478,441 円であった。

3. 第 3 号議案 2020 年度監査報告について

【資料 3】

(説明)

監事 2 名より、業務遂行は妥当であり、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認める、と報告があった。

4. 第4号議案 2021・2022年度事業計画について 【資料 4-1、4-2】
 (説明)
 本学会の特徴をふまえて、地域看護学の再定義を基盤にしながら、学会が目指す方向性を社会に示し、取組みの戦略を検討しながら事業を進めていくことを確認し、事業計画を示した。
5. 第5号議案 2021年度収支予算について 【資料 5】
 (説明)
 当期収入合計は22,810,100円、当期支出合計は21,190,000円である。オンラインで行う研究活動推進セミナー開催費など、適正な事業遂行のために必要な予算を計上した。
6. 第6号議案 賛助会員入会金と会費について 【資料 6】
 賛助会員(個人又は団体)の入会金は、10,000円、年会費は、30,000円とする。
7. 第7号議案 2021～2022年度理事・監事の選任について 【資料 7】
 理事12名、監事2名、指名理事3名が選出された。
8. 第8号議案 名誉会員の推薦について 【資料 8】
 河野啓子氏(四日市看護医療大学名誉学長)を名誉会員候補者として決定した。河野氏は、第6回学術集會長、理事を歴任するなど、名誉会員の候補基準を満たしている。

IV. 報 告

1. 第26回学術集會長について
 学術集會長：荒木田美香子教授(川崎市立看護短期大学)
2. 第24回学術集會について
 学術集會長：岸 恵美子教授(東邦大学看護学部)
 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により、参加者の安全と健康を第一に考え、オンライン開催で実施することに決定した。
3. 第25回学術集會について
 学術集會長：田村須賀子教授(富山大学学術研究部医学系)
 2022年8月27日(土)・28日(日)に、「地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッショナル-当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり-」をテーマに、富山国際会議場(富山市)で開催することに決定した。

V. 資 料

資料 1-1	2020年度事業報告書(全体報告)	……	3
資料 1-2	2020年度事業報告書(委員会報告)	……	7
資料 2-1	2020年度貸借対照表	……	17
資料 2-2	2020年度収支計算書	……	18
資料 2-3	2020年度財産目録	……	20
資料 3	2020年度監査報告書	……	21
資料 4-1	2021年度事業計画書	……	23
資料 4-2	2022年度事業計画書	……	24
資料 5	2021年度収支予算書	……	25
資料 6	賛助会員入会金と会費について	……	27
資料 7	2021～2022年度役員候補者一覧	……	28
資料 8	名誉会員候補者一覧	……	29
資料 9	役員・社員名簿	……	30

一般社団法人日本地域看護学会 2020 年度事業報告書(案)

I. 会員数

1. ブロック別会員数

2021年6月2日現在

ブロック	都道府県	会員数
北海道・東北	北海道、青森、秋田、宮城、山形、福島、岩手	121
関東	群馬、茨城、栃木、千葉、埼玉、神奈川	323
東京都	東京都	159
甲信越・中部	静岡、愛知、岐阜、三重、福井、富山、石川、長野、山梨、新潟	275
関西	滋賀、大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山	253
中国・四国	岡山、広島、島根、鳥取、山口、高知、香川、徳島、愛媛	146
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎、沖縄	128
	会員数合計	1,405

2. 経年会員数推移

総会報告時

年度	会員数	対前年度比	年度	会員数	対前年度比
1998	420	-	2010	1,360	107%
1999	569	135%	2011	1,286	94%
2000	695	122%	2012	1,298	100%
2001	794	114%	2013	1,312	101%
2002	918	115%	2014	1,339	102%
2003	935	101%	2015	1,417	105%
2004	976	104%	2016	1,404	99%
2005	1,068	109%	2017	1,441	102%
2006	1,128	105%	2018	1,438	99%
2007	1,172	103%	2019	1,424	99%
2008	1,241	105%	2020	1,413	99%
2009	1,265	101%	2021	1,405	99%

II. 事業報告

1. 理事会を3回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2020年度 第1回理事会	2020年5月29日 Zoomによるオンライン会議	2019年度事業報告、決算・監査報告、2020年度事業計画、予算、健康危機管理支援システムの整備、第25回学術集会長の選出等
2020年度 第2回理事会	2020年11月8日 Zoomによるオンライン会議	第24回学術集会開催方法、健康危機管理支援システム整備、保健所への会員派遣、賛助会員の入会等

2020年度 第3回理事会	2021年2月21日 Zoomによるオンライン会議	第24回学術集会理事会セミナー、2021年度社員総会、2020年度事業報告、中間決算報告、2021,2022年度事業計画、予算、2020年度表彰論文等
------------------	------------------------------	---

※その他、監査および委員会における会議（詳細は各委員会の報告書を参照）を適宜開催した。

2. メール審議を8回実施した

会議名	審議結果 報告日	議題	結果
第1回 メール審議	2020年 4月24日	①入会審査、②第23回学術集会の開催方法を誌上開催とすること、③第23回学術集会が誌上開催の場合の理事会セミナーの企画について	全て、全会一致で承認された
第2回 メール審議	2020年 7月17日	①新型コロナウイルス感染症の危機的な拡大を受けて厚生労働省からの本会への保健所支援依頼の応諾について、②本学会の登録者名簿の作成方法について	全て、全会一致で承認された
第3回 メール審議	2020年 7月28日	①オンラインによる研究セミナーの実施について	賛成多数で承認された
第4回 メール審議	2020年 8月6日	①賛助会員の入会申請の申し合わせ案について、②学会広告バナー掲載申し合わせ案について	学会ポリシーの確認など重要意見がだされたため継続審議となった
第5回 メール審議	2020年 8月20日	①賛助会員の入会申請の申し合わせ案について（継続審議）、②臨時社員総会の開催について	賛助会員の入会について回答留保が多く継続審議となった。賛助会員に関連して臨時社員総会の開催の動議が出されたが、対応を急ぐ必要性はなく次期総会の審議となった
第6回 メール審議	2020年 9月4日	①学会ホームページへのバナー広告の掲載について、②バナー広告掲載者の要件について、③賛助会員の会費を社員総会で審議することについて	賛成票と反対票、保留と意見が割れ、理事会で審議することとなった
第7回 メール審議	2020年 12月15日	①第24回学術集会理事会セミナーについて	賛成多数で承認となった
第8回 メール審議	2020年 1月26日	①感染症法改正案に対する日本看護系学会協議会の意見表明についての回答、②日本地域看護学会としての感染症法改正に対する意見表明について	全て、全会一致で承認となった

2. 社員総会を1回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2020年度 社員総会	2020年6月25日 書面にて実施	2019年度事業報告、決算・監査報告、2020年度事業計画、予算、名誉会員等

3. 会員報告会の開催を第23回学術集會会期中に予定していたが、第23巻第2号「学会だより」にて報告した。

4. 第23回学術集會を開催した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防および感染拡大防止のため、2020年8月29、30日に大阪市にて予定していた対面による開催を取り止め、講演集による誌上発表へ変更し、一部プログラムは動画配信を行った。

テーマ：地域力の可視化とケアの変革

学術集會長：河野 あゆみ氏（大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域）

HPへのアクセス数：1,715件（2020年8月25日～10月31日）

5. 理事会緊急セミナー「新型コロナウイルス感染症に対する自治体本庁への学会としての支援経験からの学び」を、第23回学術集會講演集での誌上発表にて実施した。

1) テーマ：新型コロナウイルス感染症への対応における学会への期待

講師：加藤 典子氏（厚生労働省健康局健康課保健指導室）

2) テーマ：新型コロナウイルス感染症への支援経験から得られた学会としての役割

講師：春山 早苗氏（自治医科大学看護学部、日本地域看護学会災害支援のあり方検討委員会）

6. 日本地域看護学会誌第23巻第1号（2020年4月20日発行）、第2号（2020年8月20日発行）、第3号（2020年12月20日）を電子体で発行した。また、2020年度から電子体のみでの発行となったため、会員へアンケート調査を実施した。その他、日本地域看護学会誌投稿規程を改正し、英文投稿原稿に関する執筆要領を明記した。

7. 地域看護学に関する研究活動を推進し、委員会セミナーをオンライン開催にて実施した。

1) 第1回研究セミナー（オンライン開催）

オンデマンド配信：2020年10月2～18日

ライブ配信：2020年10月10日

タイトル：健康で安全な地域社会の構築を目指す実践研究

——実践者と研究者の協働手法 CBPR——

テーマ・講師：①Community Based Participatory Researchとは

麻原きよみ氏（聖路加国際大学大学院看護学研究科）

②Community Based Participatory Researchの実例

平原 優美氏（日本訪問看護財団あすか山訪問看護ステーション）

成瀬 昂氏（東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野）

小林 正幸氏（文京昭和高齢者在宅サービスセンター）

参加者：139名（会員：101名、大学院生：30名、非会員：8名）

2) 第2回研究セミナー（オンライン開催）

ライブ配信：2021年3月13日

オンデマンド配信：2021年3月14～21日

タイトル：マルチレベル分析の理論と実際

テーマ・講師：①マルチレベル分析の理論と活用

山口 拓洋氏（東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野）

②マルチレベル分析を用いた地域看護研究の実例

田口 敦子氏（慶應義塾大学看護医療学部）

参加者：210名（会員：182名、大学院生：21名、非会員：7名）

8. 広報活動の一環として、公立病院の地域連携室等への広報・調査を実施した。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letter No.20 を発行した。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文の決定と名誉会員候補者の検討を行った。
 - 1) 優秀論文（1編）

タイトル：発達上気になる子どもの保護者支援に関する保健師 —保育士連携活動自己評価尺度の開発—（原著）

著 者：大塚敏子・巽あさみ・坪見利香

巻 号：第 22 巻第 1 号
 - 2) 奨励論文（2編）

タイトル：アルコール依存症者が断酒と就業を両立するプロセス

著 者：佐野雪子・巽あさみ

巻 号：第 22 巻第 2 号

タイトル：中山間農村地域のひとり暮らし男性高齢者と地域との関係性における経験の意味

著 者：細木千穂・白谷佳恵・田高悦子・伊藤絵梨子・有本 梓

巻 号：第 22 巻第 2 号
 - 3) 名誉会員候補者
河野啓子氏（四日市看護医療大学名誉学長）を名誉会員候補者として決定した。河野氏は、第6回学術集会長、理事を歴任するなど、名誉会員の候補基準を満たしている。
12. 災害に対する支援のあり方を検討した。
13. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。
14. 選挙管理委員会を設置し、役員選挙を実施した。
15. 新型コロナウイルス感染症への対応
新型コロナウイルス感染症の流行が危機的な拡大を見せ、2020年7月に厚生労働省から本学会に至急の協力要請があった。本学会の「健康危機管理支援システム」に支援要員として既に登録している会員及びこれまで厚労省への応援を経験している会員を対象に保健所支援への登録の協力依頼を行った。
また、2019年度に学会ホームページに立ち上げた新型コロナウイルス関連情報特設サイトは、情報を定期的に更新し、継続して情報発信に努めた。

編集委員会

1. 委員構成

委員長	北山 三津子 (岐阜県立看護大学)
副委員長	永田 智子 (慶應義塾大学)
委員	有本 梓 (横浜市立大学大学院)
	和泉 比佐子 (神戸大学大学院)
	井手 知恵子 (大分大学)
	上野 まり (自治医科大学)
	尾崎 章子 (東北大学大学院)
	亀井 智子 (聖路加国際大学大学院)
	佐藤 由美 (群馬大学大学院)
	都筑 千景 (大阪府立大学大学院)
	西嶋 真理子 (愛媛大学大学院)
	吉本 照子

2. 2020 年度活動報告

1) 委員会開催

(1) 第 1 回委員会

日時：2020 年 6 月 6 日 (土) 9:30~12:00

形態：ZOOM によるオンライン会議

出席者：北山、永田、有本、和泉、井手、上野、尾崎、亀井、佐藤、都筑、西嶋、吉本

内容：理事会報告

継続中の論文の審査状況について

新規投稿論文の編集委員・査読委員について

第 23 巻第 2 号の掲載予定論文および依頼原稿等について

編集委員会企画連載について

優秀査読者賞の経過について

委員会活動計画について

拡大編集委員会の開催について

等

(2) 第 2 回委員会

日時：2020 年 10 月 3 日 (土) 13:00~16:00

形態：ZOOM によるオンライン会議

出席者：北山、永田、有本、和泉、井手、上野、尾崎、亀井、佐藤、都筑、西嶋、吉本

内容：拡大編集委員会報告

理事会報告

継続中の論文の審査状況について

新規投稿論文の編集委員・査読委員について

第 23 巻第 3 号の掲載予定論文および依頼原稿等について

巻頭言・編集後記の執筆者について

編集委員会企画連載について

学会誌の電子化及び公開に関する調査について

等

(3) 第 3 回委員会

日時：2021 年 2 月 6 日 (土) 9:30~12:00

形態：ZOOM によるオンライン会議

出席者：北山、永田、有本、和泉、井手、尾崎、亀井、佐藤、都筑、西嶋、吉本

内容：理事会報告

継続中の論文の審査状況について
新規投稿論文の編集委員・査読委員について
第24巻第1号の掲載予定論文および依頼原稿等について
優秀査読者賞の経過について
学会誌の電子化に関する調査について
投稿規程・投稿原稿作成チェックリスト改定について 等

2) 2020年度拡大編集委員会

形態：2020年8月に査読者に資料を送付し、メールにて意見を求めた。なお、優秀査読者2名には、賞状と副賞を事務局から郵送した。

資料内容：第9期編集委員会活動方針および2020年度活動計画について

投稿規程について
投稿論文作成チェックリストについて
投稿から掲載までの流れについて
投稿論文の動向について
優秀査読者賞の報告

優秀査読者：安齋由貴子氏、大澤真奈美氏

3) 地域看護学会誌の発行

- (1) 第23巻第1号 発行日：2020年4月20日
掲載論文：原著2、研究報告3、資料2、編集委員会企画連載2
委員会報告1、News from JACHN No.19
- (2) 第23巻第2号 発行日：2020年8月20日
掲載論文：原著2、研究報告3、資料1
- (3) 第23巻第3号 発行日：2020年12月20日
掲載論文：研究報告3、資料2、学術集会報告

4) 学会誌の電子化に関する調査

本調査は、第23巻1号（2020年4月発行）から冊子体の発行を廃止し電子ジャーナルのみとなったため、会員の反応を把握することを目的として2021年1月に実施し、168名から回答を得た。殆どの者が職場や自宅等で電子ジャーナルを閲覧できると回答したが、閲覧した者は6割強であり、「発行に気づかなかった」「閲覧しにくい」等の意見が多かった。そのため、学会誌の発行のみを知らせるメールマガジンの送付、メールマガジンに学会誌の目次掲載、地域看護に活用できるインデックスのアイコンをトップページに表示する等の改善を図った。

3. 2021年度活動計画（案）

- 1) 編集委員会を開催する（年3回）。
- 2) 拡大編集委員会を書面で開催する。
- 3) 学会誌を3号発行する（第24巻第1～3号）。
- 4) オンライン投稿査読システムを運用し、評価する。
- 5) 「優秀査読者賞」の選考および授賞を行う。
- 6) 学会誌の電子化および公開（J-STAGE）を行う。
- 7) その他本学会の目的に必要な事業の推進を図る。

研究活動推進委員会

1. 委員構成

委員長	大森	純子	(東北大学大学院)
副委員長	和泉	京子	(武庫川女子大学)
委員	北岡	英子	(神奈川県立保健福祉大学)
	平野	美千代	(北海道大学大学院)
	松永	篤志	(東北大学大学院)
	山下	留理子	(国際医療福祉大学大学院)

2. 2020年度活動報告

2020年2月8日現在の活動状況について報告する。

1) 研究活動推進委員会会議の開催 (3回)

(1) 第1回

日時：2020年6月28日(日) 13:00～15:00

場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：大森純子、和泉京子、北岡英子、平野美千代、山下留理子、国井由生子(株式会社ユピア)、松永篤志(敬称略)

議事：

- ①昨年度延期分のセミナーについて
- ②今年度のセミナー開催の検討
- ③セミナー以外の委員会活動について

(2) 第2回

日時：2020年11月20日(金) 14:30～16:00

場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：大森純子、和泉京子、北岡英子、平野美千代、山下留理子、国井由生子(株式会社ユピア)、松永篤志(敬称略)

議事：

- ①第1回セミナーの報告・振り返り
- ②第2回のセミナーについて

(3) 第3回

日時：2021年3月1日(月) 13:00～15:00

場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：大森純子、和泉京子、北岡英子、平野美千代、山下留理子、国井由生子(株式会社ユピア)、松永篤志(敬称略)

議事：

- ①第2回のセミナーの準備状況の確認・課題の検討

2) 研究セミナーの開催 (2回)

(1) 第1回研究セミナー(オンライン開催) ※2019年度3月に中止延期した研究セミナー

日程：講演オンデマンド配信・質問受付開始：2020年10月2日(金) 10:00

質疑応答・意見交換(LIVE配信)：2020年10月10日(土) 14:00～15:00

オンデマンド配信終了：2020年10月18日(日) 21:00

タイトル：健康で安全な地域社会の構築を目指す実践研究

-実践者と研究者の協働手法CBPR-

内容・講師(敬称略)：

①Community Based Participatory Researchとは

講師：麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）

②Community Based Participatory Researchの実例

講師：平原優美（日本訪問看護財団あすか山訪問看護ステーション統括所長）

成瀬 昂（東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野講師）

小林正幸（文京昭和高齢者在宅サービスセンター施設長）

参加者数：計139名

内訳：学会員（101名）／大学院生（30名）／非会員（8名）

(2) 第2回研究セミナー（オンライン開催）

日程：ライブ配信：2021年3月13日（土）10:00～12:00

オンデマンド配信：2021年3月14日（日）～21日（日）

タイトル：マルチレベル分析の理論と実際

内容・講師（敬称略）：

①マルチレベル分析の理論と活用

講師：山口拓洋（東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野教授）

②マルチレベル分析を用いた地域看護研究の実例

講師：田口敦子（慶應義塾大学看護医療学部教授）

参加者数：計210名

内訳：学会員（182名）／大学院生（21名）／非会員（7名）

3) その他、会員の研究活動を推進するための活動

- ・ COVID-19の流行状況と全国の会員の参加のしやすさを検討し、研究セミナーをオンラインで実施した。

3. 2021年度活動計画（案）

- 1) 日本地域看護学会研究活動推進委員会主催の研究セミナーを企画する委員会の開催
- 2) 日本地域看護学会研究活動推進委員会主催の研究セミナー（オンライン）の開催（1回）
- 3) その他、会員の研究活動を推進するための活動の検討

広報委員会

1. 委員構成

委員長	田村 須賀子 (富山大学)
副委員長	安田 貴恵子 (長野県看護大学)
委員	高倉 恭子 (富山大学)
	長谷川 美香 (福井大学)
	平澤 則子 (新潟県立看護大学)

2. 2020 年度活動報告

1) 委員会開催

- (1) 第 1 回委員会開催 2020 年 7 月 27 日 (月) 17:00~18:30 (Zoom による WEB 会議)
内 容: ①前期の総括と今期の活動計画について、②HP 上のバナー設定について
- (2) 第 2 回委員会開催 (2020 年 11 月メール会議)
内 容: ①理事会報告、②公的病院等の地域連携担当部署への広報活動について
- (3) 第 3 回委員会開催 (2021 年 3 月)
内 容: 公的病院等の地域連携担当部署を対象としたアンケート結果の集約と第 24 回学術集会に向けた広報活動の評価、今後に向けた企画検討

2) ホームページの内容の確認と充実: 掲載内容の確認を定期的(月 1 回)に行った。

3) 公的病院等の地域連携担当部署に対する調査・広報活動を行った。

- ・第 24 回学術集会に向けて: 独立行政法人国立病院機構 140 か所、国立大学法人・私立学校法人附属病院 155 か所、公的医療機関・社会保険関係団体(日本病院会会員)796 か所、計 1091 か所 (2020.11.11 現在) を対象に、学術集会の案内チラシとともに質問紙を郵送し、情報保護シール貼付はがきで回答を得た。なお依頼文には「地域看護学の再定義(2019)」を載せた。
- ・調査期間は 2021 年 2 月~2021 年 3 月、154 件 (回収率 14.1%)。
- ・公的病院等の地域連携担当部署では、「地域看護における退院調整困難な事例への調整、アプローチ、支援方法、困難事例の共有」「医療と看護の連携」「介護分野との連携」等を含む地域医療連携、多職種連携などの連携にかかわることに興味があること、ACP 看護倫理、看護界への AI の導入と活用、高齢化社会と地域包括ケアや入退院支援等、広い視野で看護の知見を求める意見があった。多様なテーマで楽しみにしていること、共生社会という大きな土台の上に様々な内容が集まってくる第 24 回学術集会への期待も書かれていた。WEB 学会は参加しやすく、今後も配信することも検討して欲しい(10 件) などの意見を得た。

3. 2021 年度活動計画 (案)

1) ホームページの内容の確認と充実について

定期的に広報委員が交代で HP を確認し、早急な更新と内容の検討を行う。

必要事項は委員会で検討し理事会に諮り進める。

2) 広報を通じた会員サービスの拡充と会員獲得戦略について

委員会で課題整理と対応策を検討し理事会に提案する。

3) 地域で実践する看護職に対する広報活動

(例)地域包括支援センター、診療所、訪問看護ステーション、学校、事業所 etc.

4) その他必要な事項について

教育委員会

1. 委員構成

委員長	岸 恵美子 (東邦大学)
副委員長	斉藤 恵美子 (東京都立大学)
委員	赤星 琴美 (大分県立看護科学大学)
	石橋 みゆき (千葉大学大学院)
	大宮 朋子 (筑波大学)
	表 志津子 (金沢大学)
	草野 恵美子 (大阪医科大学)
	佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)
	諏訪部 高江 (株式会社農大サポート)
	藤原 和美 (東邦大学)

2. 2020年度活動報告

1) 委員会の実施

(1) 第1回教育進委員会

日時：2020年7月11日(土) 15:00~17:00

方法：オンライン

参加者：赤星琴美、石橋みゆき、大宮朋子、表志津子、岸恵美子、草野恵美子、佐藤紀子、
諏訪部高江、藤原和美(敬称略)

議事：

①理事会・総会報告の情報共有、今年度事業計画と役割分担

②地域看護学の教育内容・方法の検討

(2) 第2回教育委員会

日時：2020年8月5日(水) 9:00~11:00

方法：オンライン

参加者：赤星琴美、石橋みゆき、大宮朋子、表志津子、岸恵美子、草野恵美子、
斉藤恵美子、佐藤紀子、藤原和美(敬称略)

議事：

①地域看護学の教育内容・方法の検討

②地域看護学、在宅看護論の位置づけなどについての検討

③「地域看護学の教育内容と方法」のHP掲載について(代議員より意見収集)

3. 2021年度活動計画(案)

1) 地域看護学の到達目標の検討

2) 地域看護学の教育内容・方法の検討

国際交流推進委員会

1. 委員構成

委員長	河野 あゆみ (大阪市立大学大学院在宅看護学領域)
副委員長	小西 かおる (大阪大学大学院)
委員	岡本 玲子 (大阪大学大学院)
	濱吉 美穂 (佛教大学)
	吉岡 京子 (国立保健医療科学院)

2. 2020 年度活動報告

1) 英文ニュースレターの発行

- ・英文ニュースレターNo.20 (学会誌第 24 巻第 1 号掲載) を発行した.
- ・内容は、COVID-19 感染拡大に関する地域看護実践トピックス、指定規則改正の動向、論文表彰者のメッセージなどを掲載.

2) 必要に応じて、国際的な研究交流や学术交流の提供

- ・WANS 理事会等への参加

3) 第 1 回委員会の開催

日 時：2020 年 10 月 27 日

場 所：オンライン会議

参加者：河野委員長，岡本委員，小西委員，濱吉委員，(吉岡委員)

内 容：英文ニュースレター企画ほか

3. 2021 年度活動計画 (案)

- 1) 英文ニュースレターNo.21 を発行する.
- 2) 必要に応じて、国際的な研究交流や学术交流に有用な情報を提供する.
- 3) 委員会を年 1 回、開催する.

表彰論文選考委員会

1. 委員構成

委員長	上野 昌江 (関西医科大学)
副委員長	北山 三津子 (岐阜県立看護大学)
委員	金子 仁子 (東京情報大学)
	永田 智子 (慶應義塾大学)
	鳩野 洋子 (九州大学大学院)

2. 2020 年度活動報告

1) 活動目的

- (1) 日本地域看護学会誌に掲載された優れた論文について、規程に沿って、「優秀論文賞」および「奨励論文賞」(以下、表彰論文)を選考する。
- (2) 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、日本地域看護学会名誉会員(以下、名誉会員)候補者を選考する。
- (3) 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる、その他必要な事業等を推進する。

2) 活動報告

- (1) 委員会の開催
委員会を1回開催した(2021年2月6日)。
- (2) 2020年度表彰論文について
規程に基づき、学会誌第22巻第1~3号に掲載された論文を対象に、理事・代議員による投票結果を踏まえ、独創性、新規性、学術的発展性、実践的有用性の観点から審議の上、表彰論文の選考を行った。
- (3) 2020年度名誉会員候補者について
規程に基づき、名誉会員候補者について検討を行った。
- (4) その他
本事業の充実に向けて、学会HP上に表彰論文選考理由および受賞者の声を掲載した。また当期の学術集会(誌上)において受賞論文の掲載を行った。

3. 2021 年度事業計画(案)

- 1) 学会誌第23巻に掲載された優れた論文について、規程に沿って、表彰論文を選考する。
- 2) 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、名誉会員候補者を検討する。
- 3) 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる必要な事業等を推進する。

災害支援のあり方検討委員会

1. 委員構成

委員長	春山 早苗 (自治医科大学)
副委員長	安齋 由貴子 (宮城大学)
委員	石田 千絵 (日本赤十字看護大学)
	岩村 龍子 (和歌山県立医科大学)
	奥田 博子 (国立保健医療科学院)
	小寺 さやか (神戸大学大学院)
	島田 裕子 (自治医科大学)

2. 2020 年度活動報告

1) 活動目的

本学会としての災害支援のあり方を検討する。

具体的には

- ・災害対策に関わる情報や被災地の保健師活動についての情報を収集し、それに基づいて地域看護の実践・教育・研究のあり方を考える機会をつくっていく
- ・日本看護系学会協議会 災害における看護の学会連携ネットワーク等を通して、他学会と連携していく

2) 活動報告

(1) 第1回委員会

日 時：令和3年2月11日（木）10：00～11:30

開催方法：ZOOM

出席者：春山、安齋、奥田、小寺、島田

- 内 容：・各委員による COVID-19 関連の活動状況等の近況報告・情報共有
- ・健康危機管理支援システムに関わる委員会の今後の活動に関する意見交換
 - ・第24回学術集会ワークショップへの申込みについて
 - ・その他

(2) 健康危機管理の教育方法に関する調査

目 的：指定規則の改正、COVID-19 の実習等への影響及び COVID-19 のまん延という健康危機の経験を踏まえ、保健師教育課程における健康危機管理に関する教育の実態と課題を明らかにする

対 象：本学会会員のうち、保健師教育課程に携わっている会員

調査方法：WEB 調査

時 期：令和3年3月

結果の公表：本学会第24回学術集会ワークショップ等

3. 2021 年度活動計画（案）

1) 委員会の開催（年2回）

2) 第24回学術集会におけるワークショップの開催（令和2年度実施の健康危機管理の教育方法に関する調査の公表を含む）

3) 健康危機に関わる情報や地域看護に従事する看護職の活動についての情報収集

選挙管理委員会

1. 委員構成

委員長	永田 智子 (慶應義塾大学)
副委員長	田村 須賀子 (富山大学)
委員	陶山 公子 (富山大学)
	山本 なつ紀 (慶應義塾大学)

2. 役員選挙結果報告

1) 開票結果

有権者数		67 人	
投票者数		55 人	
投票率		82.08%	
投票数	—	理事	監事
	有効票	274 票	110 票
	白票	1 票	0 票
	有効票+白票	275 票	110 票

2021年1月28日開票

2) 当選理事一覧 (定数: 12 人)

(敬称略・50音順)

No.	氏名	所属先
1	荒木田美香子	川崎市立看護短期大学
2	大木 幸子	杏林大学保健学部看護学科
3	大森 純子	東北大学大学院医学系研究科
4	蔭山 正子	大阪大学高等共創研究院
5	岸 恵美子	東邦大学大学院看護学研究科
6	北山 三津子	岐阜県立看護大学看護学部
7	小西 かおる	大阪大学大学院医学系研究科
8	田高 悦子	北海道大学大学院保健科学研究院
9	田村 須賀子	富山大学学術研究部医学系
10	永田 智子	慶應義塾大学看護医療学部
11	春山 早苗	自治医科大学看護学部
12	宮崎 美砂子	千葉大学大学院看護学研究院

3) 当選監事一覧 (定数: 2 人)

(敬称略・50音順)

No.	氏名	所属先
1	佐伯 和子	富山県立大学
2	村嶋 幸代	大分県立看護科学大学

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	7,952,851	19,688,133	△11,735,282
普通預金 (事務センター)	4,133,960	13,453,578	△9,319,618
郵便振替 (年会費等)	1,109,670	3,510,000	△2,400,330
普通預金 (第23回学術集会参加費等)	0	242,000	△242,000
普通預金 (研究セミナー)	237,099	0	237,099
普通預金 (学術集会)	1,769,564	1,780,003	△10,439
普通預金 (将来事業準備資金)	702,558	702,552	6
未収金	14,233,544	0	14,233,544
前払金	0	81,676	△81,676
前払金 (第24回学術集会運転資金)	30,440	0	30,440
前払金 (第25回学術集会運転資金)	1,239,680	0	1,239,680
流動資産合計	23,456,515	19,769,809	3,686,706
資産合計	23,456,515	19,769,809	3,686,706
II 負債の部			
流動負債			
未払金	68,400	55,000	13,400
前受金 (年会費等)	1,109,670	3,510,000	△2,400,330
前受金 (第23回学術集会参加費等)	0	242,000	△242,000
前受金 (第23回学術集会運転資金)	0	780,003	△780,003
前受金 (第24回学術集会運転資金)	800,004	0	800,004
流動負債合計	1,978,074	4,587,003	△2,608,929
負債合計	1,978,074	4,587,003	△2,608,929
III 正味財産の部			
一般正味財産	21,478,441	15,182,806	6,295,635
正味財産合計	21,478,441	15,182,806	6,295,635
負債及び正味財産合計	23,456,515	19,769,809	3,686,706

一般社団法人日本地域看護学会 2020年度収支計算書（案）

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31日

I. 一般会計

1. 収入

(単位:円)

項目	2020年度 予算	2020年度 決算	差異 (収入減 △)	備考
1 年会費	13,800,000	14,100,000	300,000	10,000円×1,410件 2020年度:1,371/1,467人(入金率93.4%) 過年度:39件
2 入会金	600,000	535,000	△ 65,000	5,000円×107人
3 寄付金	0	0	0	
4 第23回学術集会(誌上開催)	1,750,000	2,267,010	517,010	助成金(勇美記念財団:750,000円、大阪府福祉 基金:200,000円)を含む
5 委員会セミナー参加費	300,000	1,055,000	755,000	第1回:264,000円、第2回:791,000円
6 投稿料	250,000	210,000	△ 40,000	5,000円×42件
7 学会誌売上	0	0	0	
8 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
9 雑収入	20,100	11,396	△ 8,704	
(1) 利息	100	76	△ 24	
(2) 著作権使用料	20,000	11,220	△ 8,780	医学中央雑誌刊行会
(3) その他	0	100	100	抄録コピーサービス1部
(A) 当期収入合計	16,720,100	18,178,406	1,458,306	
前期繰越金	14,480,254	14,480,254	0	
(B) 合計	31,200,354	32,658,660	1,458,306	

2. 支出

(単位:円)

項目	2020年度 予算	2020年度 決算	差異 (支出増 △)	備考
事業費支出				
1 第23回学術集会(誌上開催)	2,750,000	2,674,028	75,972	
2 理事会セミナー	10,000	5,000	5,000	
3 会員報告会	0	0	0	
4 研究論文表彰費	150,000	124,850	25,150	論文賞副賞:110,000円、その他:14,850円
5 学会誌	4,050,000	2,775,300	1,274,700	第23巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,900,000	2,687,300	1,212,700	
(2) 発送費	0	0	0	
(3) J-STAGE掲載作業費	150,000	88,000	62,000	掲載論文20編
6 委員会活動費	3,260,000	2,149,390	1,110,610	
(1) 編集委員会	1,000,000	413,082	586,918	委員会開催費(3回)、拡大編集委員会開催費(1回)等
(2) 研究活動推進委員会	960,000	1,380,170	△ 420,170	委員会開催費(3回)、セミナー開催費(2回)
(3) 広報委員会	300,000	204,338	95,662	委員会開催費(3回)、委員会調査実施費用
(4) 教育委員会	500,000	0	500,000	委員会開催費(2回) ※Web会議のため支出なし
(5) 国際交流推進委員会	200,000	151,800	48,200	委員会開催費(1回)、ニューズレターNo.20作成費
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	0	100,000	委員会開催費(1回) ※Web会議のため支出なし
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	0	200,000	委員会開催費(1回) ※Web会議のため支出なし
7 選挙運営費	300,000	243,540	56,460	
(1) 選挙管理等受付管理費	220,000	220,000	0	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	
(3) 役員選挙運営費	50,000	23,540	26,460	名簿作成費、印刷・発送費等
(4) 選挙管理委員会会議費	30,000	0	30,000	委員会開催費(2回)
8 諸会費	100,000	80,000	20,000	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	0	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	0	20,000	2020年度会費の請求なし
9 雑費	10,000	5,214	4,786	新宿区支援業務用Wi-Fiレンタル代
事業費小計	10,630,000	8,057,322	2,572,678	

項目	2020年度 予 算	2020年度 決 算	差 異 (支出増 △)	備 考
管理費支出				
1 会議費	450,000	112,580	337,420	
(1) 理事会	300,000	22,110	277,890	理事会(3回)、監査(2回)、Web会議用Zoom アカウント取得費用を含む
(2) 社員総会	150,000	90,470	59,530	社員総会(1回)
2 交通・宿泊費	1,000,000	0	1,000,000	理事会(3回)、監査(2回)、社員総会(1回)
3 印刷費	400,000	324,929	75,071	会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費
4 発送費	400,000	258,406	141,594	年会費請求書・入会通知等発送費
5 ホームページ管理費	400,000	396,000	4,000	
6 業務委託費	2,900,000	2,628,230	271,770	
7 租税公課	70,000	70,000	0	法人税
8 雑費	70,000	35,310	34,690	
(1) 振込手数料	20,000	9,900	10,100	
(2) その他	50,000	25,410	24,590	振替通知書発行人手数料(110円×231件)
管理費小計	5,690,000	3,825,455	1,864,545	
資産積立支出				
1 将来事業準備資金積立金	0	0	0	
資産積立支出小計	0	0	0	
(C) 当期支出合計	16,320,000	11,882,777	4,437,223	
(A-C) 当期収支差額	400,100	6,295,629	△ 5,895,529	
(B-C) 次期繰越金	14,880,354	20,775,883	△ 5,895,529	

II. 積立金

将来事業準備資金

(単位:円)

収 入		支 出		備 考
前期繰越金	702,552	取崩	0	
繰入	0	次期繰越金	702,558	
受取利息	6			
収入合計	702,558	支出合計	702,558	

財 産 目 録

令和 3 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金 (事務センター)	三菱UFJ銀行	一般会計/学会運転資金	4,133,960
郵便振替 (年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	1,109,670
普通預金 (研究セミナー)		一般会計/ 研究活動推進委員会等への参加費	237,099
普通預金 (学術集会)	三菱UFJ銀行	一般会計/第24回学術集会運転資金	1,769,564
普通預金 (将来事業準備資金)	三菱UFJ銀行	積立金/将来事業準備資金	702,558
未収金	ゆうちょ銀行	一般会計/年会費	14,104,590
未収金	三菱UFJ銀行	一般会計/ 研究活動推進委員会等への参加費	128,954
前払金 (第24回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第24回学術集会経費	30,440
前払金 (第25回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第25回学術集会会場費	1,239,680
流動資産合計			23,456,515
資産合計			23,456,515
(流動負債)			
未払金	三菱UFJ銀行	一般会計/ 研究活動推進委員会等への参加費返金	68,400
前受金 (年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	1,109,670
前受金 (第24回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第24回学術集会運転資金	800,004
流動負債合計			1,978,074
負債合計			1,978,074
正味財産			21,478,441

監査報告書

2021年 5月 25日

一般社団法人日本地域看護学会
理事長 宮崎 美砂子 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事 佐伯 和子



私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討しました。
- (3) 監査は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため、web会議により実施し、監事1人ずつが署名・捺印した監査報告書を2枚作成しました。

2. 監査結果

- (1) 業務等の監査結果
 - ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (3) 学会の発展に向けての意見
 - ①理事会運営におけるメール審議の位置づけと適用・採否の決定条件等について規程として整備する必要があります。
 - ②学会の使命や将来を展望し、会員拡大に向けて事業等を検討する必要があります。
 - ③webによる会議の増加に伴い、会議費・交通費が大幅に削減されており、余剰金をどのように活用していくか理事会で検討することを求めます。

監査報告書

2021年 5月 25日

一般社団法人日本地域看護学会
理事長 宮崎 美砂子 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事

村嶋 幸代



私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討しました。
- (3) 監査は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため、web会議により実施し、監事1人ずつが署名・捺印した監査報告書を2枚作成しました。

2. 監査結果

(1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 学会の発展に向けての意見

- ①理事会運営におけるメール審議の位置づけと適用・採否の決定条件等について規程として整備する必要があります。
- ②学会の使命や将来を展望し、会員拡大に向けて事業等を検討する必要があります。
- ③webによる会議の増加に伴い、会議費・交通費が大幅に削減されており、余剰金をどのように活用していくか理事会で検討することを求めます。

一般社団法人日本地域看護学会 2021年度事業計画書(案)

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第24回学術集会を開催する。
5. 第24回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第24巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
14. その他必要な事業を行う。

以上

一般社団法人日本地域看護学会 2022年度事業計画書(案)

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第25回学術集会を開催する。
5. 第25回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第25巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
14. 代議員・役員選挙を行う。
15. その他必要な事業を行う。

以上

一般社団法人日本地域看護学会 2021年度収支予算書(案)

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月 31日

I. 一般会計

1. 収入

(単位:円)

項目	2021年度 予算	2020年度 予算	2020年度 決算	備考
1 年会費	13,800,000	13,800,000	14,100,000	10,000円×1,380/1,470人(入金率94%程度)
2 入会金	500,000	600,000	535,000	5,000円×100人
3 寄付金	0	0	0	
4 第24回学術集会	8,000,000	1,750,000	2,267,010	
5 委員会セミナー参加費	300,000	300,000	1,055,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	250,000	210,000	5,000円×40件
7 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
8 雑収入	10,100	20,100	11,396	
(1) 利息	100	100	76	
(2) 著作権使用料	10,000	20,000	11,220	医学中央雑誌刊行会
(3) その他	0	0	100	
(A) 当期収入合計	22,810,100	16,720,100	18,178,406	
前期繰越金	20,775,883	14,480,254	14,480,254	
(B) 合計	43,585,983	31,200,354	32,658,660	

2. 支出

(単位:円)

項目	2021年度 予算	2020年度 予算	2020年度 決算	備考
事業費支出				
1 第24回学術集会	9,000,000	2,750,000	2,674,028	
2 理事会セミナー	50,000	10,000	5,000	
3 会員報告会	50,000	0	0	
4 研究論文表彰費	150,000	150,000	124,850	論文賞副賞:110,000円、その他:40,000円
5 学会誌	4,050,000	4,050,000	2,775,300	第24巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,900,000	3,900,000	2,687,300	
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	150,000	88,000	
6 委員会活動費	2,800,000	3,260,000	2,149,390	
(1) 編集委員会	1,000,000	1,000,000	413,082	拡大編集委員会開催費(1回)を含む
(2) 研究活動推進委員会	500,000	960,000	1,380,170	セミナー開催費(1回)を含む
(3) 広報委員会	300,000	300,000	204,338	
(4) 教育委員会	500,000	500,000	0	
(5) 国際交流推進委員会	200,000	200,000	151,800	ニューズレターNo.21作成費を含む
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	100,000	0	
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	200,000	0	
7 選挙運営費	0	300,000	243,540	
(1) 選挙管理等受付管理費	0	220,000	220,000	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	
(3) 役員選挙運営費	0	50,000	23,540	
(4) 選挙管理委員会会議費	0	30,000	0	
8 諸会費	100,000	100,000	80,000	
(1) 日本看護学会協議会	80,000	80,000	80,000	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	0	
9 雑費	50,000	10,000	5,214	
事業費小計	16,250,000	10,630,000	8,057,322	

項目	2021年度 予 算	2020年度 予 算	2020年度 決 算	備 考
管理費支出				
1 会議費	250,000	450,000	112,580	
(1) 理事会	200,000	300,000	22,110	理事会・懇談会・監査会議費、Web会議費用を含む
(2) 社員総会	50,000	150,000	90,470	Web会議費用を含む
2 交通・宿泊費	400,000	1,000,000	0	
3 印刷費	400,000	400,000	324,929	封筒・請求書作成費等
4 発送費	400,000	400,000	258,406	年会費請求書等
5 ホームページ管理費	400,000	400,000	396,000	
6 業務委託費	2,900,000	2,900,000	2,628,230	
7 租税公課	70,000	70,000	70,000	法人税
8 雑費	120,000	70,000	35,310	
(1) 振込手数料	40,000	20,000	9,900	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	80,000	50,000	25,410	登記変更費等
管理費小計	4,940,000	5,690,000	3,825,455	
資産積立支出				
1 将来事業準備資金積立金	0	0	0	
資産積立支出小計	0	0	0	
(C) 当期支出合計	21,190,000	16,320,000	11,882,777	
(A-C) 当期収支差額	1,620,100	400,100	6,295,629	
(B-C) 次期繰越金	22,395,983	14,880,354	20,775,883	

II. 積立金

将来事業準備資金

(単位:円)

収 入		支 出		備 考
前年度繰越金	702,558	取崩	0	
繰入	0	次年度繰越金	702,558	
受取利息	0			
収入合計	702,558	支出合計	702,558	

賛助会員入会金と会費について（案）

賛助会員の入会金と会費について、賛助会員（個人又は団体）の入会金は、10,000 円、年会費は、30,000 円とする。

これにより、一般社団法人日本地域看護学会定款第9条の入会金及び会費に関する申し合わせを別に作成して、正会員と賛助会員の入会金と会費を記載することとする。この申し合わせを変更する場合は、理事会での承認を必要とするものとする。

参 考 資 料

I. 定款

第2章 社 員

(会員)

第5条 この法人の会員は次のとおりとする。

- (1) 正 会 員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人または団体
- (3) 名誉会員 この法人に多大な寄与をした者の中から、理事長が理事会の議を得て社員総会に推薦し、その承認が得られた者

(入会)

第6条 正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、入会申込書を理事長に提出し、理事会の承認を得なくてはならない。

2. 名誉会員に関する規程は、別に定める。

(入会金及び会費)

第9条 正会員及び賛助会員となった個人又は団体は、総会の決議を経て別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

2. 会員がすでに納入した入会金、年会費及びその他の拠出金品は、これを返還しない。

II. 入会金及び会費申し合わせ(案)

一般社団法人日本地域看護学会定款第9条の入会金及び会費に関する申し合わせを、次のように定める。

1. 正会員の入会金は、5,000 円、年会費は 10,000 円とする
2. 賛助会員(個人又は団体)の入会金は、10,000 円、年会費は、30,000 円とする。

(2021 年●月●日 社員総会承認)

III. 賛助会員に関する特典について

1. 賛助会員となる団体名(社名)は、学会のホームページに「賛助会員」として記されリンクがはられる。
2. 年次学術集会上に、賛助会員の団体(社)のメンバー(社員)1名は無料で参加できる。

(2021 年5月1日 理事会承認)

一般社団法人日本地域看護学会 2021～2022 年度役員候補者一覧

1. 理事

(50音順)

No.	氏名	所属
1	秋山 正子*	株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション
2	荒木田 美香子	川崎市立看護短期大学
3	石橋 みゆき*	千葉大学大学院看護学研究院
4	石丸 美奈*	千葉大学大学院看護学研究院
5	大木 幸子	杏林大学保健学部看護学科
6	大森 純子	東北大学大学院医学系研究科
7	蔭山 正子	大阪大学高等共創研究院
8	岸 恵美子	東邦大学看護学部
9	北山 三津子	岐阜県立看護大学
10	小西 かおる	大阪大学大学院医学系研究科
11	田高 悦子	北海道大学大学院保健科学研究院
12	田村 須賀子	富山大学学術研究部医学系
13	永田 智子	慶應義塾大学看護医療学部
14	春山 早苗	自治医科大学看護学部
15	宮崎 美砂子	千葉大学大学院看護学研究院

*：推薦理事

2. 監事

(50音順)

No.	氏名	所属
1	佐伯 和子	富山県立大学看護学部
2	村嶋 幸代	大分県立看護科学大学

一般社団法人日本地域看護学会 名誉会員候補者一覧

No.	氏 名	所 属
1	河野 啓子	四日市看護医療大学名誉学長

一般社団法人日本地域看護学会 2019～2020 年度役員名簿

理事長

宮崎 美砂子 (千葉大学大学院)

副理事長

荒木田美香子 (川崎市立看護短期大学)

田高 悦子 (北海道大学大学院)

理事

石橋 みゆき (千葉大学大学院)

河野 あゆみ (大阪市立大学大学院在宅看護学領域)

石丸 美奈 (千葉大学大学院)

小西 かおる (大阪大学大学院)

上野 昌江 (関西医科大学)

田村 須賀子 (富山大学)

大森 純子 (東北大学大学院)

永田 智子 (慶應義塾大学)

岸 恵美子 (東邦大学)

春山 早苗 (自治医科大学)

北山 三津子 (岐阜県立看護大学)

監事

佐伯 和子 (富山県立大学)

村嶋 幸代 (大分県立看護科学大学)

一般社団法人日本地域看護学会 2019～2022 年度社員名簿

秋山 正子 (榊ヶアーズ白十字訪問看護ステーション)	工藤 禎子 (北海道医療大学)
麻原 きよみ (聖路加国際大学)	河野 あゆみ (大阪市立大学大学院在宅看護学領域)
荒木田美香子 (川崎市立看護短期大学)	小西 かおる (大阪大学大学院)
有本 梓 (横浜市立大学大学院)	斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院)
安齋 由貴子 (宮城大学)	佐伯 和子 (富山県立大学)
石垣 和子 (石川県立看護大学)	佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)
石田 千絵 (日本赤十字看護大学)	佐藤 由美 (群馬大学大学院)
石橋 みゆき (千葉大学大学院)	巽 あさみ (人間環境大学大学院)
石原 多佳子 (岐阜聖徳学園大学)	田高 悦子 (北海道大学大学院)
石丸 美奈 (千葉大学大学院)	田中 美延里 (愛媛県立医療技術大学)
和泉 京子 (武庫川女子大学)	田村 須賀子 (富山大学)
和泉 比佐子 (神戸大学大学院)	都筑 千景 (大阪府立大学大学院)
井手 知恵子 (大分大学)	永田 智子 (慶應義塾大学)
岩本 里織 (神戸市看護大学)	波川 京子 (川崎医療福祉大学)
上野 昌江 (関西医科大学)	西嶋 真理子 (愛媛大学大学院)
上野 まり (自治医科大学)	鳩野 洋子 (九州大学大学院)
大木 幸子 (杏林大学)	春山 早苗 (自治医科大学)
大澤 真奈美 (群馬県立県民健康科学大学)	平澤 則子 (新潟県立看護大学)
大西 美智恵 (香川大学瀬戸内圏研究センター)	平野 かよ子 (宮崎県立看護大学)
大森 純子 (東北大学大学院)	平野 美千代 (北海道大学大学院)
尾形 由起子 (福岡県立大学)	松尾 和枝 (福岡女学院看護大学)
岡本 玲子 (大阪大学大学院)	松下 光子 (岐阜県立看護大学)
奥野 ひろみ (信州大学)	松田 宣子 (関西国際大学)
表 志津子 (金沢大学)	宮崎 美砂子 (千葉大学大学院)
蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院)	村嶋 幸代 (大分県立看護科学大学)
門間 晶子 (名古屋市立大学)	森 仁実 (岐阜県立看護大学)
金子 仁子 (東京情報大学)	守田 孝恵 (獨協医科大学)
亀井 智子 (聖路加国際大学大学院)	安田 貴恵子 (長野県看護大学)
川崎 涼子 (長崎大学)	矢庭 さゆり (新見公立大学)
岸 恵美子 (東邦大学)	山崎 洋子 (健康科学大学)
北岡 英子 (湘南鎌倉医療大学)	吉田 礼維子 (天使大学)
北山 三津子 (岐阜県立看護大学)	両羽 美穂子 (岐阜県立看護大学)